

第2回水稻生育情報

令和5年7月13日発行

霞ヶ浦農業用水推進協議会「水土里連絡会」
(霞ヶ浦用水土地改良区) TEL 0296-43-0885

生育等概況

気温は、6月第5半旬は平年並み、第6半旬は平年よりもかなり高く推移した。
日照は、6月第5半旬は平年よりも多く推移した。第6半旬にかけては概ね平年並みで推移した。
定点調査圃場の生育は、草丈は平年並～高い、茎数は平年並～やや少ない、葉色は平年並～やや淡い。

調査地点	田植日	草丈 (cm)	茎 数		※品種はコシヒカリ 葉 色	
			(本) / 株	(本) / m ²	カラスケール	葉緑素計
笠間市	4月25日	75.9	29.1	440.9	4.4	35.3
土浦市	5月5日	63.1	28.7	532.0	4.2	34.9
石岡市	5月14日	63.7	23.8	397.0	4.3	35.0
つくば市	5月2日	67.8	39.2	642.9	3.6	34.4
筑西市	5月5日	68.0	26.0	432.5	3.4	35.9
下妻市	5月1日	73.6	41.4	577.5	3.7	32.3
桜川市	5月9日	62.5	26.5	410.6	3.5	35.1
常総市	5月3日	70.3	33.0	647.1	5.1	39.7
八千代町	5月1日	69.5	39.8	663.0	4.3	35.0
結城市	5月6日	62.3	37.4	624.0	4.0	34.9
坂東市	4月27日	76.2	36.3	550.0	3.7	34.0
古河市	5月14日	64.2	28.4	497.4	3.5	31.0
境町	4月25日	75.3	34.7	526.5	3.8	33.9

(令和5年6月29日調査)

予想される向こう3か月の天候

- 7月 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は、高い確率40%です。
- 8月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 9月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

今後の管理

○穂肥 (コシヒカリ) 出穂前20～25日の目標生育量は、葉色がカラスケールで3.5程度、茎数がm²当たり 500～600本程度である。この程度の生育量であれば、幼穂長1～4cm (出穂前15～18日) の時期に速効性窒素を2kg/10a 施用する。

◇出穂前40日頃の葉色がカラスケールで4未満と淡い場合

出穂前40日頃に速効性窒素1kg/10aを施用して葉色を維持し、出穂前20日頃に速効性窒素を3kg/10a施用する。

◇出穂前20日頃の葉色がカラスケールで4.5程度と濃い場合

出穂前10日頃の葉色によって穂肥を省略するか、少量施用するかを判断する。出穂前10日頃の葉色がカラスケールで4.0未満であれば、出穂前10日頃に速効性窒素を1kg/10a施用する。葉色が4.0以上あれば、穂肥を施用する必要はない。

○水管理

5月中旬までに移植した「コシヒカリ」は、既に幼穂形成期に入っているため、中干しを終了し間断かんがいを行う。5月下旬に移植した「コシヒカリ」でも、7月第2半旬頃には幼穂分化が始まるため、それまでに中干しを終了し、その後は間断かんがいを継続する。なお、中干しが不十分な場合は、倒伏防止の観点から中干し程度を弱くして期間を延長するが、遅くとも出穂前20日頃には終了する。

○斑点米の軽減

斑点米カメムシ類の耕種的防除として畦畔等のイネ科雑草は斑点米カメムシ類の生息場所となるため除草を徹底する。ただし、水田内への追い込みを避けるため、水稻が出穂する2週間前までに除草を完了させる。